

DOUBLE ANNUAL 2023 募集要項

DOUBLE ANNUAL 2023

京都芸術大学では、2018年から2022年まで5回にわたって開催してきた学生選抜展「KUA ANNUAL」を、2023年以降、東北芸術工科大学からも学生選抜を行うプロジェクトへと発展させ、名称も「DOUBLE ANNUAL」へと変更します。京都と山形という二つの異なる地点から、現代世界をどう見つめることができるのか、それが東京や世界からの眼差しにいかに関わり、共感されうるのか。新たなチャレンジの始まりです。

新しい会場、新体制で初の試みとなる「DOUBLE ANNUAL 2023」では、長引くパンデミックが浮き彫りにした社会のさまざまな構造や不均衡、歴史を逆行するようなウクライナ侵攻にみる分断や対立構造、権力や支配への無限の欲望など、目まぐるしく変わる社会情勢と人類の普遍的さがのはざままで、アートに何ができるのかを批評的かつクリエイティブに考えるため、下記の3つのキーワードに応答した出展提案書を募集します。

募集テーマ

「抗体」

抗体とは、病原体などが体内に入ったとき、それに対抗するために体の中で作られる物質です。免疫のもとになるものとして、耳にしたことがあるかもしれません。思えば、私たちの存在は、つねに外界との出会いによって揺り動かされ、それに対処するという宿命のうちにあります。他者や異物に対する違和感や拒否の感情、容易には受け入れがたいものに、いかに対決し、あるいは適応していくのか。それは芸術の上でも、重要なテーマの一つであり続けています。この「異なるもの」との出会いとそれへの対応は、変化のきっかけとして前向きに捉えることもできるでしょう。困難を耐え抜く力や知恵、回復力などに発展させて考えることもできるかもしれません。

「アジール」

アジールとは、世俗的な権力が及ばない「避難所」です。俗世の過酷な状況からアジールへ逃れる人は、世間と縁を切ることで誰からも支配を受けない新たな生を受けました。日本ではかつて寺院が「無縁所」としてアジールの役割を担い、女性側から離婚ができなかった時代には離婚を切望する女性の駆込寺ともなっていました。アジールは誰もが平等な多種多様な人の共存の場であり、許される場です。遠く離れた人々と瞬時につながることができる一方で俗世から逃れることが困難な現代において、今私たちが求めるアジールはどのような場でしょうか。そして芸術実践からアジールを見出すことは可能でしょうか。

「ミラクル」

現代アートには変化し続ける社会の潮流に批評的な提言をしてきた長い歴史があります。そのなかでは、困難な状況が揺り動かす情動や行動が創造活動に繋がったものもあります。アートには現実を異なる方向に転換させる革新的な発想や想像力があります。政治的な意味での革命（レボリューション）に「回転」という意味があるように、社会的、経済的、政治的にも極めて困難な状況が続く現状を、アートの力で良い方向に反転させること。それはもはや奇跡（ミラクル）のように思えるかもしれませんが、それでもなお、そのミラクルを起こしたいと考えます。

1) 募集要項（両大学共通）

応募形態：出展者（個人／グループ）、アシスタント・キュレーターのいずれか（いずれも自薦とする）

選考方法：応募書類（エントリーデータ）とプレゼンテーション ※アシスタント・キュレーターは面接

対 象：京都芸術大学（芸術学部学生・大学院学生 ※いずれも通学課程のみ）
東北芸術工科大学（芸術学部学生・デザイン工学部学生・大学院学生）

応募条件：

【作家】

- ・表現方法やジャンルは問わないが、国立新美術館でのレギュレーションに準拠すること
- ・指定の会場で指定の期間にこのプログラムを通じて制作したものを公開すること（搬入出および会期中の対応に参加できること）
- ・両校それぞれにおこなうプレ展にも参加できること

【アシスタント・キュレーター】

現代美術展をつくる一連のプロセスの一部を担っていただきます。例）SNSでの発信、広報物制作、参加作家とのコミュニケーション。

- ・現代美術展のキュレーティング、または広報等の展覧会制作に関連するタスクに興味を持って関わること
- ・両校それぞれにおこなうプレ展、および国立新美術館でおこなう展示作業に参加できること

応募締切：5月31日（火）12:00（正午） ※厳守

応募方法：G フォーム（<https://forms.gle/ebRB3cZhXFsnQy2Z6>）より提出してください。

応募書類（エントリーデータ）：

【作家必須】

- ①「抗体、アジール、ミラクル」に応じた作品や活動のプラン

PDF データにまとめ、添付すること（10MB 以内）。ファイル名は、「学籍番号（8～9 ケタ）_氏名（グループ名）_活動プラン」としてください。

例）12101999_北白川太郎_活動プラン.pdf

- ② ポートフォリオ

1 つの PDF データにまとめ、添付すること（20MB 以内）。動画等は、URL のリンクを PDF

に記載し、提出してください。ファイル名は、「学籍番号（8～9 ケタ）_氏名（グループ名）_ポートフォリオ」としてください。

例）12101999_北白川太郎_ポートフォリオ.pdf

【アシスタント・キュレーター必須】

① 応募動機

PDF データにまとめ、添付すること（1MB 以内）。書式自由。ファイル名は、「学籍番号（8～9 ケタ）_氏名（グループ名）_応募動機」としてください。

例）12101998_最上川花子_応募動機.pdf

② 自己紹介

なにが自分を美術／デザイン／マネジメント etc.の道に進ませたか、またご自身のこれまでの活動、あるいは現在興味を持っていることなどをまとめてください。文章、ビジュアル素材入りのポートフォリオなど。PDF データにまとめ、添付すること（1MB 以内）。書式自由。ファイル名は、「学籍番号（8～9 ケタ）_氏名（グループ名）_小論文」としてください。

例）12101998_最上川花子_自己紹介.pdf

※提出データに不備がある場合は、受付できません。

※提出データは指定のサイズ・書式で提出すること。

1 次選考結果発表：6 月 22 日（水）

合格者氏名・所属・学年を HP に公開し、合格者へはメールで通知します。

2 次選考：6 月 25 日（土）・26 日

遠隔（Zoom）で行います。作品、ポートフォリオ等を準備してください。応募した時点で、あらかじめ予定を空けておいてください。

2 次選考結果発表：7 月 6 日（水）

合格者氏名・所属・学年を HP に公開します

初回キックオフミーティング：7 月 16 日（土）・17 日（日）

いずれも対面で行います（京都―山形―上海を Zoom で繋ぐ予定）。あらかじめ予定の確保をお願い致します。

その他：

経費：作品運搬費や会場の展示設営費、保険料は大学経費とし、現地までの交通費・滞在費、作品制作費・梱包費等は自己負担とする。

※感染対策ガイドラインにより、相部屋での宿泊は認めません。大学指定のシングルルーム（トイレ・風呂等の共用 NG）を予約してください。

2) 開催概要

日 程：2023 年 2 月 25 日（土）～3 月 5 日（日）予定

設 営：2023 年 2 月 21 日（火）～24 日（木）

搬 出：3 月 6 日（月）

会 場：国立新美術館 展示室 3 A（1,000 m²）

主 催：京都芸術大学

協 力：東北芸術工科大学

プレビュー展：両大学で 12 月に開催予定予定